



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年7月31日

上場会社名 日本食品化工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2892 URL <https://www.nisshoku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野瀬 励  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部経理課長 (氏名) 山本 明弘 TEL 0545-52-3181  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の業績 (2020年4月1日~2020年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	12,123	2.9	660	675.1	713	—	501	—
2020年3月期第1四半期	11,782	△8.9	85	△79.7	46	△91.2	27	△92.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	101.96	—
2020年3月期第1四半期	5.61	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	35,233	19,090	54.2
2020年3月期	34,532	18,703	54.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 19,090百万円 2020年3月期 18,703百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	25.00	25.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,200	2.1	450	—	750	163.7	550	130.5	111.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	6,400,000株	2020年3月期	6,400,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,481,115株	2020年3月期	1,481,115株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	4,918,884株	2020年3月期1Q	4,918,889株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け日本国内においても感染者が急増したことで政府より緊急事態宣言が発令される等、社会活動が停滞し雇用、消費ともに悪化しました。5月末には全国の緊急事態宣言は解除されたものの、感染拡大第2波への警戒もあり、先行きは極めて不透明な状況となりました。

原料とうもろこしのシカゴ相場は、期初334セント/ブッシェル台で始まり、新型コロナウイルス感染拡大の影響による需要減少に伴う期末在庫の増加や、新穀の生産量増加見通しから319セント/ブッシェル台迄値を下げましたが、作付面積が市場予想を大幅に下回ったこと等から値を上げ、第1四半期平均では322セント/ブッシェル台となりました。

また、原油相場は期初20ドル/バレル台で始まり、EUや米国でロックダウンが実施されたことによる需要減少から、17ドル/バレル台迄値を下げましたが、世界各国で経済活動が再開されたことによる緩やかな需要の回復等から値を上げ、第1四半期平均では28ドル/バレル台となりました。

一方、米国から日本までの穀物海上運賃は、期初44ドル/トン近辺で始まり、世界各国がロックダウンを解除し、荷動きが増加したこと等から値を上げ、第1四半期平均では47ドル/トンとなりました。

為替相場は、期初107円/ドル台で始まりましたが、世界各国が経済再開に向け舵を切ったこと等から小幅に円安が進み、第1四半期平均では108円/ドル台となりました。

このような状況のもと、当社は新型コロナウイルス感染予防に努めながら、継続して生産効率の改善、製品在庫水準の適正化及び各種コスト削減ならびに安定的な販売に取り組みました。

販売面では、コロナ禍での全国的な飲食店の休業および外出自粛等により外食需要が大幅に低迷したため、飲料やアルコール飲料など業務用商品向けに使用される糖化製品の販売が減少しました。また、外出自粛による旅行等各種パンフレットの需要減退や在宅勤務による紙の需要低迷も重なり、製紙向け澱粉製品の販売も減少しました。一方、家庭向けアルコール飲料や調味料、冷凍食品等は巣ごもり消費が拡大したことから、その原料として使用される糖化製品・澱粉製品の販売は増加しました。

この結果、当第1四半期累計期間における当社の売上高は121億2千万円(前年同四半期比2.9%増)、営業利益は6億6千万円(前年同四半期比675.1%増)、経常利益は7億1千万円(前年同四半期比1,420.4%増)、四半期純利益は5億円(前年同四半期比1,718.2%増)となりました。

次に、各部門の販売概況は以下のとおりであります。

## (澱粉部門)

澱粉部門は、製紙向け澱粉製品の出荷が振るわず販売数量が減少したことにより、売上高は25億2千万円と前年同四半期比1億7千万円(6.6%)の減収となりました。

## (糖化品部門)

糖化品部門は、巣ごもり消費が拡大し家庭向け商品の原料に使用される糖化製品の出荷が増えたことにより、売上高は78億2千万円と前年同四半期比3億7千万円(5.0%)の増収となりました。

## (ファインケミカル部門)

ファインケミカル部門は、医薬品用途向けの海外での需要増を受け国内での販売数量が増加し、売上高は5億1千万円と前年同四半期比6千万円(13.8%)の増収となりました。

## (副産物部門)

副産物部門は、主製品の販売増加により副産物の発生量が増加したことで、売上高は12億6千万円と前年同四半期比8千万円(7.1%)の増収となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間における総資産は352億3千万円となり、前事業年度末と比較して7億円の増加となりました。その主な要因は、原材料及び貯蔵品が2億4千万円減少したものの、売掛金が5億2千万円、電子記録債権が4億1千万円増加したこと等によるものです。また、負債については、前事業年度末と比較して3億1千万円の増加となりました。その主な要因は、賞与引当金が5億円減少したものの、借入金(純額)が7億7千万円増加したこと等によるものです。

なお、純資産は190億円となり、自己資本比率は前事業年度末と同水準の54.2%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降においては、新型コロナウイルス感染拡大による業績への影響は不透明であり、2021年3月期の業績予想につきましては、2020年4月30日に公表いたしました業績予想に変更はございません。なお、当該感染症等の影響により業績予想の修正が生じる場合は、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	221	228
売掛金	10,431	10,958
電子記録債権	290	708
商品及び製品	3,416	3,720
仕掛品	2,075	2,009
原材料及び貯蔵品	3,309	3,068
その他	343	293
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	20,087	20,984
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,458	3,691
構築物	421	413
機械及び装置	5,280	5,146
車両運搬具	4	6
工具、器具及び備品	239	241
土地	1,862	1,862
リース資産	118	130
建設仮勘定	442	128
有形固定資産合計	11,826	11,619
無形固定資産		
借地権	45	45
ソフトウェア	319	350
その他	50	50
無形固定資産合計	415	446
投資その他の資産		
投資有価証券	288	291
関係会社株式	371	371
繰延税金資産	1,411	1,391
その他	135	133
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,202	2,181
固定資産合計	14,445	14,248
資産合計	34,532	35,233

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,232	1,147
短期借入金	3,911	4,687
未払金	2,771	2,548
未払法人税等	62	208
賞与引当金	723	216
役員賞与引当金	16	4
資産除去債務	37	37
その他	147	375
流動負債合計	8,902	9,226
固定負債		
長期借入金	2,600	2,600
退職給付引当金	4,070	4,047
環境対策引当金	47	46
資産除去債務	119	119
その他	89	101
固定負債合計	6,926	6,915
負債合計	15,829	16,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,600	1,600
資本剰余金		
資本準備金	327	327
その他資本剰余金	0	0
資本剰余金合計	327	327
利益剰余金		
利益準備金	400	400
その他利益剰余金		
建物圧縮積立金	154	152
構築物圧縮積立金	0	0
機械装置圧縮積立金	0	0
土地圧縮積立金	113	113
別途積立金	7,000	7,000
繰越利益剰余金	11,197	11,578
利益剰余金合計	18,866	19,245
自己株式	△2,147	△2,147
株主資本合計	18,646	19,025
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	45	47
繰延ヘッジ損益	10	17
評価・換算差額等合計	56	65
純資産合計	18,703	19,090
負債純資産合計	34,532	35,233

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	11,782	12,123
売上原価	9,740	9,653
売上総利益	2,041	2,470
販売費及び一般管理費	1,956	1,810
営業利益	85	660
営業外収益		
受取配当金	2	43
為替差益	—	9
受取ロイヤリティー	19	18
その他	7	12
営業外収益合計	29	84
営業外費用		
支払利息	7	7
固定資産除却損	15	8
為替差損	40	—
その他	3	15
営業外費用合計	68	31
経常利益	46	713
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
税引前四半期純利益	47	713
法人税、住民税及び事業税	2	195
法人税等調整額	16	16
法人税等合計	19	212
四半期純利益	27	501

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。